

家庭調書記入要領

Ⅰ 記入全般についての注意事項

- 家庭調書は、選考上重要な資料となりますので、以下の注意事項を熟読して、**令和7年10月1日現在の状況を正確に記入してください。**
- 家庭調書は全部で3ページあります。
書類はすべてボールペンで記入してください。(消せるボールペン不可)
- 欄は、該当するものに✓印を付けてください。
- 記入すべきことが書かれていないものや判読困難なもの等、不備があるものは、選考から除外します。
また、許可後、記入内容が事実と相違していることが判明した場合は、許可後であってもその許可を取り消すことがあるので、正確に記入してください。

Ⅱ 家庭調書

1. 本人就学状況				※令和7年10月1日現在で記入すること		
受験番号	1 0 0 1 0 0 0 0	氏名	大 学 二 郎		通学区分 ☒ 自宅 ☐ 自宅外	
令和7年10月現在の給与収入(アルバイト含む。)		□平均月収8万円以上 ☒ 平均月収8万円未満又は収入なし				
返還を要しない(給付型)奨学金受給状況	☒ 受給している	奨学金名(団体名) ○○育英奨学会				
	☐ 受給していない					
給与始期		令和 7 年 10 月分から	給与月額	30 千円	給与年額	360 千円

- ア. 独立生計者及び留学生の通学区分は「自宅」を選択してください。
- イ. 令和7年10月現在の平均月収が8万円以上の者とは、次の場合をいいます。
 ・前年1月1日以前から継続して勤務しており、前年の給与収入が96万円以上の者
 この場合は、勤務先から発行された「給与所得の源泉徴収票」の写を提出してください。
 ・前年1月2日以降に就職・転職し、「直近3ヶ月の給与支払金額÷3×12+年間賞与額」が96万円以上の者
 この場合は、勤務先から証明された「給与支払(見込)証明書」を提出してください。
- ウ. 「奨学金受給状況」欄は、入学後の受給が決定している給付型奨学金がある場合に記入してください。
 ・受給の内容(団体名、受給者氏名、受給金額、受給期間)がわかる書類の写を提出してください。

2. 家族構成(本人を除く、留学生は日本在住の家族のみを記入)				※令和7年10月1日現在で記入すること	
就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業等 (該当するものすべてに✓印を付けてください)	
	父	大 学 太 郎	55	☒ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☒ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	母	大 学 花 子	49	☒ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☒ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	祖父	大 学 良 郎	76	☒ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	祖母	大 学 花 代	74	☐ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☒ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	長姉	大 学 花 美	28	☐ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☒ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	兄	大 学 一 郎	23	☐ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☒ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
	留学生の場合			☐ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☐ 留学生 ☐ その他()	
本人	李 梅花	23	☐ 給与収入者 ☐ 自営業者 ☐ 農業 ☐ 年金受給者 ☐ 失業保険受給 ☐ 無職 ☐ 未就学児 ☐ 予備校生 ☒ 留学生 ☐ その他()		
本人以外の就学者	続柄	氏名	年齢	学 校 名	学年 通学区分
	次姉	大 学 花 恵	21	国 立 新潟大学	3 ☒ 自宅 ☐ 自宅外
	弟	大 学 三 郎	16	県 立 五十嵐高校	2 ☒ 自宅 ☐ 自宅外
				立	☐ 自宅 ☐ 自宅外
				立	☐ 自宅 ☐ 自宅外

- 「就学者を除く家族」欄について
 ア. 同一続柄の家族が複数いる場合は、「兄1」「兄2」「長姉」「次姉」等適宜の方法により区別がつくように記入してください(以下、続柄を記入する項目についても同様)。
 イ. 家族は、同居別居を問わず申請者と生計を一にする者全員(就学者を除く)を記入してください。ただし、別居独立の生計を営む兄弟姉妹や生計を一にしない別居の祖父母等別生計者は、記入しないでください。
- 「本人以外の就学者」欄について
 ア. 本人以外の就学者全員について記入してください。なお、就学者とは、以下の学校に在学する者です。
 小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学(短期大学・大学院・専攻科・別科を含む。放送大学については全科履修生・特修生に限る。)、特別支援学校、専修学校(高等課程・専門課程)
 イ. 上記以外の専修学校一般課程及び各種学校(予備校・職業訓練校・その他)などに在学する者は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- 独立生計者として出願する場合及び留学生について
 ア. 「就学者を除く家族」欄に、申請者本人の氏名、職業等についても記入してください。
 イ. 独立生計者及び留学生の配偶者が学生である場合は、配偶者について「就学者を除く家族」欄と「本人以外の就学者」欄の両方に記入してください。

該当する場合の記入例

3. 家族構成の補足(該当者のみ)

※令和7年10月1日現在で記入すること

ア 母子又は父子世帯	☐ 昭和 ☒ 平成 ☐ 令和	30 年 9 月	☒ 父 ☐ 母	☒ 死 亡 ☐ 生 別	(例:平成30年9月父死亡により母子家庭)
イ 障害者等のいる世帯	続 柄	障害等の種類			主たる家計支持者別居のために かかる光熱水料費、住居費
	兄	☒ 障害者	☐ 寝たきり	☐ 原爆被爆者	
ウ 長期療養者のいる世帯	続 柄	長期療養の始期		療 養 費	電気代月額 1,932 円…①
	祖父	☒ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和	30 年 1 月から	(年額) 528 千円	ガス代月額 1,120 円…②
		☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和	年 月から	(年額) 千円	水道代月額 1,355 円…③
		☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和	年 月から	(年額) 千円	住居費月額 25,000 円…④
エ 主たる家計支持者別居の世帯	続 柄	現 住 所 (都道府県・市区町村名まで記入)			↓ (①+②+③+④)×12
	父	〇〇県×市			年 額 3 5 3 千円

ア. 該当者は必ず記入してください。記入のない場合は、特別控除を行いません。

イ. 障害者は身体障害者の他、精神障害者及び知的障害者を含みます。

ウ. 介護保険で「要介護度5」の認定を受けている場合、寝たきりとして扱います。

エ. 長期療養者とは、令和7年10月1日現在において6ヶ月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と医師に認められた者をいいます。(医師の診断書が必要となります。)

療養費は、「直近1ヶ月分の医療費の領収書に記載されている金額×12ヶ月」の金額を記入してください。

オ. 「主たる家計支持者別居」とは、勤務上の都合により単身赴任をしている場合等をいいます。

この場合、単身赴任等別居にかかる光熱水料費(電気、ガス、水道)及び住居費を特別控除の対象とします。

なお、会社等から光熱水料費及び住居費の補助を受けている場合は、これを差し引いた金額を控除の対象とします。

カ. 療養費及び主たる家計支持者別居にかかる費用の年額は、千円未満の端数を切り上げてください。

4. 就学者を除く家族の勤務状況(令和6年1月1日～令和7年10月1日)

① 令和6年1月1日～令和7年10月1日の間の勤務状況を、退職したものを含め、すべて記入してください。

② 自営業、専従者、農業、アルバイト、内職、単発の収入、役員手当等、収入を得たものはすべて記入してください。

③ 所得証明書に記載のある給与収入や営業所得はすべて記入してください。

続 柄	勤 務 先 名 称	勤 務 開 始 年 月	令和7年10月1日現在の勤務状況
父	△△株式会社	令和5年以前 から	☐ 現在も勤務している ☒ 令和5年8月退職(退職金 ☒ 有 ☐ 無)
父	農 業	令和5年以前 から	☒ 現在も勤務している ☐ 年 月 退職(退職金 ☐ 有 ☐ 無)
父	〇〇生産組合	令和5年以前 から	☒ 現在も勤務している ☐ 年 月 退職(退職金 ☐ 有 ☐ 無)
母	農業(専従者)	令和5年以前 から	☒ 現在も勤務している ☐ 年 月 退職(退職金 ☐ 有 ☐ 無)
母	〇〇スーパー	令和6年8月 から	☒ 現在も勤務している ☐ 年 月 退職(退職金 ☐ 有 ☐ 無)
母	〇〇市役所	令和5年以前 から	☐ 現在も勤務している ☒ 令和5年7月退職(退職金 ☐ 有 ☒ 無)
祖父	〇〇新聞店	令和5年以前 から	☒ 現在も勤務している ☐ 年 月 退職(退職金 ☐ 有 ☐ 無)
長姉	××株式会社	令和5年以前 から	☐ 現在も勤務している ☒ 令和6年2月退職(退職金 ☒ 有 ☐ 無)

特記事項

家族の勤務状況について特に説明を要することがあれば、本欄に記入してください。
(例:休職中である、勤務従事しているが給与の支給がない、社名が変わった、同一勤務先でパートから正社員に変わった、毎年冬期間のみ勤務している、令和7年3月に学校を卒業し4月から就職した 等)

長姉は令和6年2月退職後失業保険を受給していたが、受給期間は満了し、現在も求職中である。

ア. 勤務開始年月が令和5年以前の場合は、同欄に「令和5年以前」と記入するだけで構いません。

イ. 令和7年10月1日現在勤務していない分については、退職金の有無について必ず記入してください。

5. 家族の年金受給状況(該当者のみ)

① 令和7年10月1日現在で各種年金を受給している家族について、以下に記入してください。

② 一人で複数の年金を受給している人は、そのすべてについて記入してください。

年金の例:老齢(基礎・厚生)年金、遺族(基礎・厚生)年金、障害(基礎・厚生)年金、企業者年金、農業者年金、福祉年金、恩給、生保の個人年金等

続 柄	受給している年金の種類	受給開始年月	続 柄	受給している年金の種類	受給開始年月
祖父	老齢(基礎・厚生)年金	令和5年以前 から	兄	障害基礎年金	令和6年2月 から
祖父	農業者年金	令和5年以前 から			から
祖母	老齢基礎年金	令和5年以前 から			から

ア. 受給開始年月が令和5年以前の場合は、同欄に「令和5年以前」と記入するだけで構いません。

6～9の各項目は鉛筆で記入してください。

6. 本人情報

在籍番号(記入不要)					(b) 通学区分	返還を要しない 奨学金受給額(千円)				
2					5	1	6	3	6	0

年額を記入

ア. (b)通学区分は、所定の数字を記入してください。(1:自宅通学 2:自宅外通学)

イ. 奨学金受給額は、返還を要しない(給付型)奨学金についてのみ、入学後1年間の受給予定額を記入してください。

7. 収入内訳

すべて千円単位で記入してください。

留学生の場合

区 分	父	母	祖 父	祖 母	長 姉	兄	本人	
収入金額	給料・賃金・役員報酬	94	2102	743				
	年金・恩給			1937	1301		792	
	失業保険・傷病手当金							
	生活扶助金							
	児童扶養手当							
	その他							
	収入金額 計	94	2102	2680	1301		792	
所得金額	商・工・農・林・水産業	2381						
	その他の職業(自由業)							
	家賃・地代							
	利子・配当等							
	内職							
	その他							
	所得金額 計	3901						

ア. 「2. 家族構成」の「就学者を除く家族」欄に記入した家族について、各人の収入内訳を上記の区分ごとに記入してください。

イ. 申請者本人については、次のいずれかに該当する場合に記入してください。

- ・令和7年10月現在の平均月収が8万円以上の者
- ・独立生計者又は留学生

ウ. 金額は千円単位で記入し、千円未満の端数は、切り捨ててください。

給与・年金等が複数ある場合は、合算して切り捨ててください。

(例) 祖父について、〇〇新開店の給与収入 743,571円
老齢(基礎・厚生)年金の収入 1,505,600円
農業者年金の収入 432,000円 の場合

- ①〇〇新開店の給与収入について、千円未満の端数を切り捨て、「給料・賃金・役員報酬」欄に743(千円)と記入。
- ②2つの年金収入を合算し(1,505,600円+432,000円=1,937,600円)千円未満の端数を切り捨て、「年金・恩給」欄に1937(千円)と記入。
- ③「収入金額 計」欄に、①743(千円)+②1937(千円)=2680(千円)と記入。

1. 「収入金額」

ア. 「収入」とは、給料・賃金・役員報酬・賞与・年金・専従者給与・遺族の扶助料・恩給・傷病手当金・生活保護法による扶助料・失業給付金・児童扶養手当等をいいます。

イ. 給与や年金は、令和6年分源泉徴収票の「支払金額」を記入してください。

ただし、令和6年1月2日以降に就職・転職した場合は、給与支払(見込)証明書をもとに1年分の収入金額を推算して記入し、令和6年1月2日以降に年金の受給が始まった場合は、年金証書に記載されている金額を記入してください。

ウ. 令和7年10月1日より前に退職した分に係る給与収入は記入しないでください。

なお、令和6年10月2日以降に退職金の支給があった場合は、退職金支給額証明書に記載されている金額を「臨時所得」欄に記入してください。

2. 「所得金額」

ア. 「所得金額」欄は、令和6年分所得税の確定申告書等の「所得金額」を記入してください。

なお、所得金額がマイナスの場合は、所得金額を0(ゼロ)と記入してください。

(1)「商・工・農・林・水産業所得」

ア. 令和6年分確定申告書又は令和7年分市区町村民税・都道府県民税申告書の「所得金額」を記入してください。

(2)「その他の職業(自由業)」

ア. 「その他の職業」とは、給与・商・工・農・林・水産業以外の職業をいいます。例えば、委託業務(シルバー人材・保険外交員・ガス電気の検針員等)に従事している場合が該当します。

(3)「臨時所得」

ア. 令和6年10月2日以降に退職金・保険金・資産譲渡等の臨時所得があった場合は、支給額証明書等に記載されている金額を記入してください。

8. 家計収入状況 7. 収入内訳の計に記入した額を記入してください。

続柄	(a) 続柄	収入金額 計(千円)				所得金額 計(千円)			
父	8 2	9			9 4	10		3 9 0 1	
母	11 3	12		2 1 0 2	13				
祖父	14 9	15		2 6 8 0	16				
祖母	17 9	18		1 3 0 1	19				
兄	20 9	21		7 9 2	22				
本人	23 1	24					1 5 0		
	26	27							
	29	30							

収入金額、所得金額のいずれもない長姉（無職・収入なし）は記入せず、上へ詰めて記入する。

ア. 「7. 収入内訳」欄の「収入金額 計」欄又は「所得金額 計」欄に金額を計上した家族について、続柄及び続柄の数字を記入の上、「7. 収入内訳」欄の計に記入した収入(所得)金額を千円単位で記入してください。

9. 就学状況(本人を除く)

続柄	(a) 続柄	(b) 通学区分	(c) 設置区分	(d) 学校区分	(e) 授業料免除		前年度			
					前 期	後 期	授業料年額(千円)			
次姉	38 9	39 1	40 1	41 4	42 3	43 2	44 5	3	6	
弟	45 9	46 1	47 2	48 3	49	50	51			
	52	53	54	55	56	57	58			
	59	60	61	62	63	64	65			
	66	67	68	69	70	71	72			

ア. 「2. 家族構成」の「本人以外の就学者」欄に記入した兄弟等全員に係る続柄を記入し、(a)続柄、(b)通学区分、(c)設置区分、(d)学校区分については、所定の数字を記入してください。

イ. (e)授業料免除については、兄弟姉妹等が国立の学校(大学、高等専門学校)に在学している場合にのみ、「**授業料免除証明書**」をもとに**前年度の授業料免除状況を記入**し(新入生で前年度在学していない場合は、3を記入してください)、授業料年額は、**前年度授業料が免除されている場合のみ、免除前の年額(千円未満切上げ)**を記入してください。